

保護者様

岡山県立倉敷まきび支援学校
校長 佐藤 一法

平成28年度 学校評価アンケートの集計結果について

本年度、実施いたしました学校評価につきまして、結果をお知らせいたします。

【保護者・施設職員の評価】

回収率78.8%（昨年度75.1%）でした。

「あてはまる」「ほぼあてはまる」（肯定的意見）の合計が70%を越えている項目は、昨年度同様に16項目すべてが70%を越えました。また、16項目すべて昨年度よりも良い評価をいただきました。「あてはまる」の意見が50%を越えていない項目は、10項目ありました。そのうち次の7項目は、「わからない」と答えた割合が高く、今後の対応として、必要としている情報をタイムリーに分かりやすく発信することが最重要であると考えます。

- ・「教材や教具の整備、工夫を行い、授業に生かしている。」
- ・「自然災害や不審者などに対する危機管理を適切に行っている。」
- ・「鉄道やスクールバスなど通学の安全確保に取り組んでいる。」
- ・「保護者と学校が協力して、PTA活動を積極的に行っている。」
- ・「必要に応じて医療・福祉・労働などの関係機関と連携している。」
- ・「地域の資源や人材を活用したり、地域へ貢献できる活動を進めたりしている。」
- ・「ホームページの充実や行事案内など、外部への情報発信を積極的に行っている。」

保護者の方は、知っていると思われるにも関わらず「あてはまる」の意見が50%を越えていない3項目は、次のとおりです。このような項目をはじめ、自由記述でもいただいた保護者の方からの意見については、次のような対応をしていきます。

- 「担任だけでなく学校全体として、指導に取り組んでいる。」
⇒学校として一貫した指導を高めるために、学部・部門間あるいは各係間の必要な情報を共有しながら指導・支援していく体制を再構築していきます。
- 「特別支援教育の専門的な立場から、児童生徒の指導をしている。」
⇒専門的な知識・技能をもった教職員が中心となった研修を行い、指導体制を整えていきます。また、校内外での研修を充実させ、学校全体での専門性向上を図ります。
- 「個別の教育支援計画や個別の指導計画についての説明があり、指導のねらいや達成度などがよくわかる。」
⇒合理的配慮について確認するとともに、個人懇談を中心に保護者の方と内容・指導方針の確認を丁寧に行います。また、保護者の方からの質問・意見等には真摯に対応するように努めます。
- 「情報発信について」
⇒各種お便りやホームページ、マ・メールで、取組内容や行事案内、急な自然災害等に関する対応等がタイムリーに分かりやすく伝わるよう一層の工夫をしていきます。また、保護者同士の関わり合いが増える環境設定も重要と考えます。さらに、校内組織の見直しを行い、情報発信体制を整えます。

[教職員の評価]

全18項目のうち、「あてはまる」「ほぼあてはまる」（肯定的意見）の合計が70%を越えている項目は16項目と昨年度と同じでした。一方、70%以下の2項目は昨年度より増減はありますが、詳細は次のとおりです。

- ・「部門を越えて、統一的な指導ができる体制を整えている」（48.7→47.4%）
- ・「小学部から高等部まで一貫した学習活動を展開している」（41.6→50.0%）

本年度も、自立活動等の授業や校外学習、修学旅行、運動会、文化祭等の活動で、知的障害部門と肢体不自由部門との乗り入れや、小学部から高等部までの一貫した学習活動ができるための基盤作りとしてキャリア教育の視点での研究を行ってきました。現状の把握と課題を踏まえ、検討・工夫して、部門を越えた指導体制を今後更に整えていきます。また、昨年度より評価が下がった項目が半数ありました。特に大きく下回ったのは、次の2項目です。

- ・「学校の組織力を高める取り組みを行っている」（84.0→77.0%）
- ・「ホームページなどで外部への情報発信を積極的に行っている。」（89.4→84.2%）

各係が協力・連携し実動する校内組織の見直しを行い、実際の取り組みが実践しやすい無理のない年間・月別の学校及び学部行事予定を設定したいと思います。

以上、結果を真摯に受け止め、来年度の学校経営に生かしていきたいと思います。
ご多忙の中、ご協力いただき、ありがとうございました。